

イキイキ健活！ 「私のプラス1」

生活に気軽に取り組める健康習慣を1つ加える「プラス1」運動。毎月、皆さんの「プラス1」を紹介しています。



▲庄司さん、鈴木さん

私たちは、毎月開催される「敦とんウォーク」へ参加したり、商店街のウォーキングコースと一緒に歩いたりして、「敦とんあるこ」アプリのポイントを集め、楽しく健康づくりに取り組んでいます。おしゃべりを楽しみながら、無理のないペースで歩く時間は、心も体もリフレッシュできる大切なひとときです。

また、月末には健康センターで体組成を測定し、筋肉量を確認して取組の成果を実感しています。これからも楽しみながら歩き続け、筋肉を維持して健康な体づくりに取り組んでいきたいと思います。

皆さんの「プラス1」を紹介しませんか？詳しくは、健康推進課（☎ 25-5311）までお気軽にお問い合わせください。

楽しく歩いて、
成果も実感！

ウォンボムさんの敦賀研修ダイアリー Vol.2

姉妹都市である韓国東海市と職員相互派遣事業を行っています。今年は、東海市から20人目の研修員として、金源範さんが、11月まで市役所で研修を実施しています。



敦賀に来て、約2週間が経ちましたが、敦賀は静かで綺麗で、住宅街がよく整っており、海も山もある、のどかで良いまちだと思いました。

これまでで一番記憶に残っているのは、西小学校で3年生の子どもたちと一緒に受けた、自転車の安全教育です。もう自転車に乗れる人でも、必ず教育を受けなければならないシステムが新鮮でした。韓国にはない安全教育なので不思議でしたし、何よりも命や安全を大切に日本の文化が深く心に響きました。一緒に授業を受けた子どもたちも、とても可愛かったです。

市内の観光地などを見て感じたのは、地域の歴史的な文化遺産をとて大切に守っているということです。立派で美しい氣比神宮も印象深かったですが、特に「みなとつるが山車会館」で見た敦賀まつりの映像が一番心に残っています。多くの市民がひとつの祭りのためにみんなで努力し参加している姿を見て、秋のお祭りがさらに楽しみになりました。



あなたが写っていたらご連絡ください。写真を差し上げます。
〈広報広聴課 ☎ 22-8112〉



台風シーズンに備え、訓練実施 5月24日 敦賀市水防訓練

古田刈公園を拠点に笙の川の堤防で、水防訓練が実施されました。この訓練は、地域の水防体制の強化や水防技術の向上を図るとともに、水防の重要性を広く市民の皆さんに知っていただくことを目的として行われたものです。敦賀消防団、敦賀市土木協会や一般参加者など118人が参加し、浸水防止や土砂崩れ対策に利用される土のう作成や、救助や物資の固定に役立つロープ結索などの水防工法訓練が行われました。また、県防災航空隊の防災ヘリコプターによる河川敷の要救助者を吊り上げる救助訓練も行われました。水防管理者である米澤市長は、「日頃から災害に対する初動体制を整え、災害への備えを身に付けておくことが大切。参加者には、訓練で得た知識を地域で広めていただきたい。」と述べました。



シゴハチ 磨いてきれいに 6月6日 SLを磨こう！

本町第3公園に展示されている蒸気機関車の清掃活動が行われ、地元の小学生やJR職員など約40人が参加しました。参加者は、車両のほこりや汚れをブラシや高圧洗浄機で落とした後、雑巾できれいに磨き上げていました。この日参加した川端真央さん（敦賀南小・6年）は「磨くところがたくさんあって大変だった。よく来る公園なので車両がきれいになってうれしい。」と話していました。主催者の「敦賀・鉄道と港」まちづくり実行委員会の奥瀬浩之会長は「この活動を通じ鉄道遺産の認知度向上と保全を図りたい。」と話していました。この車両は「シゴハチ」の愛称で親しまれたC58型蒸気機関車。1940年に製造され、1971年まで小浜線で活躍していました。



晴天の中 児童ら田植え体験 5月18日 田んぼの学校

田んぼの学校が原区で開催され、敦賀西・敦賀南・松原小学校の5年生134人が参加しました。児童たちは、昔ながらの手植えによる田植えを体験し、米づくりの苦労や楽しさを学びました。田んぼの学校は、児童らに田植えや稲刈りを通じ、食や農業に関心を持ってもらおうと、JA福井県敦賀稲作専門部会と市が平成19年から開催しています。児童らは裸足で田んぼに入ると、「田植え杵」と呼ばれる農機具を使い、苗を等間隔に植えるための目印をつけた後、手作業で田植えを行いました。敦賀西小学校の米澤滯さんは「今日の体験でお米をつくる大変さが分かった。これからも感謝してお米を食べたい。」と指導に当たった講師に感謝の言葉を述べました。稲穂が実る頃には収穫体験が行われます。



防火への決意新たに 5月31日 敦賀美方消防組合消防大会

敦賀美方消防組合の消防大会が開催され、消防職員や消防団員ら272人が参加しました。参加した職団員らは一斉放水や分列行進などを行い、志気の高揚と住民の防火意識の向上を図りました。一斉放水では、松島町笙の川堤防に消防ポンプ車など30台が出動。職団員らは指示に合わせホースを構え、赤や黄色に着色された水を川に向かって一斉に放水しました。その後、相生町大通りで分列行進が行われ、職団員らは力強い歩みを披露しました。この日は観閲式、表彰式なども行われ、敦賀美方消防組合管理者の米澤市長は、「自然災害の多発や激甚化で住民の方の消防組合に対する期待は大きい。職員・団員各位には益々精進されることを期待します。」と訓示を述べました。

「市長と語る会 ～お出かけ市長室～」を開催します！



市民の皆さんとまちづくりへの思いを語り合うため、米澤市長が市内各地区へお伺いします。

敦賀市民の方であれば、どなたでも参加できますので、どうぞお気軽にお越しください！

「市長と語る会 ～お出かけ市長室～」の流れ

- ①市長からまちづくりについての話
 - ②敦賀市のまちづくりに関する意見交換
- ※ご要望に関しては、これまでどおり区長さんを通じてお伺いします。

●●● 8月開催 ●●●

開催日	地区	会場	時間
8/18(火)	栗野	栗野コミュニティセンター	18:30～

※各地区1回開催予定です。9月以降の日程は、順次掲載します。
※お申し込み不要

※愛発地区 8/4(火)から10/14(水)に変更
時間は18:30から 場所は愛発コミュニティセンター

問い合わせ先 広報広聴課 ☎ 22-8112



1,100人参加 きれいな海を守ろう 6月7日 市民総ぐるみ環境美化運動・クリーンアップふくい大作戦

気比の松原周辺にて一斉清掃活動が行われ、市内の企業の社員や団体の会員、児童生徒ら約1,100人が参加しました。美しい自然環境や住みやすい生活環境の保全を目的とし、6月の環境月間に合わせ、毎年開催しています。参加者は、全長約1キロの砂浜に散らばり、軍手をはめ、海岸に流れ着いた木やロープ、プラスチックなどを拾い集めていきました。約2時間の清掃で、最終的に可燃ごみは2トン、資源・粗大ごみは0.3トン集まりました。岡愛梨さん（24歳）は、「たばこのごみなどが意外に多い、ポイ捨てはしないという意識を持ってほしい。海岸をきれいにしたので、夏に向けてたくさんの観光客に来てほしい。」と話していました。